

常照

第845号

「決定(けつじょう)して自身を
深信(じんしん)する」

親鸞『愚禿鈔』

「自分に自信をつけよう」。そんな話ではない。だいたい私達がい
う自信は、とても脆い。自分の地
位や財産や健康など、いつ壊れて
もおかしくないものを頼りとして
いる。また、他人との比較によつ
てその度合いを計っているから、
優越感と劣等感の間を行ったり来

たりすることになる。心配事から
少しでも解放され、よりよい人生
を送るために自信をつけようとす
るのだろうが、一向にそのよう
にはなれない。

人生は思いもかけない問題が、
思いもかけないところからふりか
かってくる。ところが私たちは、
「自分のせいで起こった問題では
ないから自分に責任はない」と言
うことがよくある。勿論そのよう
に言うのは自由だが、我が身に起
こった現実には、誰とも代わること
は出来ない。自分は真面目に生き
てきたという思いや、コツコツと
築き上げてきた自信では何の解決
にもならない。かえって、今まで
の人生は何であったのかと深い嘆
きに沈むこととなる。身そのもの

は心臓が鼓動を止める一瞬まで生き続けるにもかかわらず、頭で考えたことによつて息詰まるのである。「もう生きていく望みがない」、「生きていく価値がない」と。

親鸞は『愚禿鈔』で、教えに出遇つた者に起こる自覚を七つの面から押さえているが、その第一番目に上げられるのが次の言葉である。

へ決定して自身を深信する（動かしようのないこととして、我が身の事実をはつきりと知ることができた）

自分の思いを超えた広さと深さを自分自身はもっている。私たちは教えに出遇うことによつて、はじめにそのような自分自身を知らされることができる。無数の関係

や条件の中を生きているのが自分自身であったことが見えるのである。その関係や条件から自由になつて、問題のない人生を生きることができると思っていたのは、自分勝手に思い描いた夢であつたことに気がつくのである。そして、自分勝手な夢を立場として、自らも迷い、他をも傷つけ続けていたことをはじめに知らされるのである。思うようにならないと言つて嘆いていたわが身の現実、実はそれこそが自分の生きる世界である。教えに依つて夢を覚まされる、そこに問題だらけの世界から逃げ出さずに居ることができるようになる。それは同時に、問題の真つただ中で自分が果たすべき使命が見つかることもある。

教えに依って知らされた我が身の現実を受け止め、そこに立ち上がるのができないならば、本当の安心はどこにもない。

「あなたは自分自身を知っているか」このことが、親鸞から問いかけてられている。

「如来とは能所(のうじよ)の 転換を行わしめるもの」

佐々木月樵

私たちが「仏教は分からない」と言っている時、言っている側に自分自身は十分に確かなものであり、わかり切ったものであり、自分のことだから自分が一番よくわかっていると思っっています。そし

て、そうした分かり方で「仏教は分からない」と言っているのです。しかし、自分自身とは本当にわかり切ったものなのでしょう。自分とは一体何時から自分なのか、自分はどこから来てどこへ行くとしていいのか、自分は自分であるというが、どちらの自分が本当の自分なのか、自分は生まれてきたというが本当にそう言い切れるか。そんなことを一つ一つ丹念に尋ねていくと、私たちは自分自身のことを本当に知っていると言い切れるでしょうか。私たちは、「仏教は分からない」とか「仏教はむずかしい」といいますが、本当に分からないのは自分自身の方なのではないでしょうか。

私たちが、「如来」や「仏教」に

対して、自分の方が確かであると思つてそれに向かつている間は、仏教は何かわけのわからない不確かなものに見えるでしょう。しかし、両者の関係が逆転して、自身の不確かさに気付いたとき初めて確かなはたらきとしての如来〓仏教と出遇いがあるので、本当に不確かなもの、それは自分自身を忘れて仏教を云々している私たちの方なのです。

『きょうのことば』

大谷大学 抜粹



六月の常例布教(こ法話)のご案内

○前期 六月七日(金)〜十一日(火)

佐賀教区 田代組 善覚寺

講師 正木 弘真 師

○後期 六月十三日(木)〜十六日(日)

北海道教区 留萌組 西曉寺

講師 藤 順生 師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時(法要終了後)〜

午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使にこ法話を
して頂きます。どうぞお誘い合わせいただき、
ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気
実施の上、お待ちしております。

発行所

☎047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号
本願寺小樽別院

電話 (〇三三四) 二二一〇七四四番
FAX (〇三三四) 二二九一四〇八〇番
テレホン法話 二七一一六一六番